

触光柔軟

本年行事予定

一月	一日 午前八時	修正会（元旦のお参り）
二月	十五日 午後一時	定例法座（本願寺派布教使）
三月	二十日 午後一時	春季彼岸会法要
四月	十五日 午後一時	定例法座（本願寺派布教使）
五月	十五日 午後一時	花まつり法座（本願寺派布教使）
六月	十五日 午後一時	定例法座
七月	十五日 午後一時	定例法座（本願寺派布教使）
八月	十六日 午後一時	盂蘭盆会法要
八月二十三日	午後一時	報恩講おみがき
九月八／九日		宗祖聖人報恩講法要（本願寺派布教使）
九月二十三日	午後一時	秋季彼岸会法要
十一月十五日	午後一時	定例法座
十二月十五日	午後一時	定例法座（本願寺派布教使）

2026（令和8）年

北広島市大曲緑ヶ丘2丁目16-1 011-376-2255

浄土真宗本願寺派 興徳寺

題字の「触光柔軟」とは、仏さまの光に遇せていただくと、柔らかな心になるという意味です。現在の北海道の人口が五百万人を下回ったという新聞記事を見ました。二〇〇八年に私がこの北海道に戻つて来た時は、約五百五十五万人でしたので、この十七年間の間に、五十五万人減つたということになります。少子化や団塊の世代の自然減が原因のようです。戦前、戦中のようにな「産めよ、増やせよ」という時代ではありませんので、このまま、この国は静かに衰退していくことになるでしょう。それを無理に解決する方に考えるより、心静かに、そしてあきらかにこの状況を見ていくことが大切だと思います。先行きの不安によつて、外國から来られている方の排斥に関するニュースを見ます。それを見た時に、悲しみと哀れみがこの心一杯になります。自分以外の「他」に目を張り、それを攻撃するようなことではなく、自分のそのような愚かしい心に光をあてていくことが大切なことです。その光というのが、「あなたを見守つているよ」という、阿弥陀さまの救いの光なのです。